

開成町事業仕分け結果を受けた町の対応方針を作成

企画政策課 ☎84-0312

町では、昨年10月17日（日）に実施した事業仕分けでいただいた意見や指摘を真摯に受け止め、該当16事業の経費や背景を精査したうえで、町の対応方針を作成しました。今後は方針の実現に向けて取り組んでまいります。対応方針の詳細は、町公式ホームページでもご覧いただけます。

開成町事業仕分け結果を受けた町の対応方針一覧

事業番号	事業名	平成21年度事業費(千円)	事業仕分け結果		町の対応方針(概略)
			仕分け結果	仕分け人の主な意見	
1	浄水場等施設整備事業	15,645	町が実施(要改善)	・点検の結果をいかした部分更新など合理的な方法で行うべき。 ・整備結果による延命効果などを具体的に見えるように。	・耐用年数を基準に、判断基準の明確化と費用対効果の比較を行いコスト削減に努めます。 ・コスト削減策について参考事例等を研究します。
2	下水道施設点検事業	3,013	町が実施(要改善)	・町民にコストがかかっていることの具体的な説明を広報することも重要。	・不明水の原因究明調査を実施し、結果と対応を広報やホームページで公表します。 ・汚水量の正確な把握に努め、機器の延命によるコスト削減に努めます。
3	徴収事務効率化事業	1,943	町が実施(要改善)	・徴収専門員による研修などを通じて町職員のスキル向上を図ることが必要。 ・徴収業務に年400万円かかっていることを町民に知らせるべき。	・これまでの徴収成果を踏まえ、現在の体制を維持していきます。 ・徴収専門員の活用により徴収率の向上を目指すとともに職員のスキル向上を図ります。
4	校務用パソコン配備事業	6,554	町が実施(要改善)	・リースと購入のコスト差について再調査し、ベストな方法で。 ・パソコン配備の成果を計測し、町民に説明するという姿勢が必要。	・現在のリース契約が満了するまでは、現行の方式で行い、その後は導入方法を調査し適切な方法を検討します。 ・成果の計測方法について検討します。
5	あしがり郷瀬戸屋敷管理事業	11,236	※不要	・瀬戸屋敷の意義は極めて評価されるべきものだが、そもそも「いかに活用すべきか」を踏まえ、町としての企画を抜本的に見直すべき。	・住民が積極的にかかわっていく体制づくりに努め管理運営のあり方の方向性をまとめます。 ・収益確保のため町外などの利用促進を進めます。
6	あじさい祭実施事業	4,000	町が実施(要改善)	・入りこみ客数ではなく、経済波及効果をいかに伸ばすことを考え施策の実施を。 ・町主導の実行委員会を商工会主導にすべし。	・経済波及効果を生み出す方法の検討を進めます。 ・実行委員会の役割を明確にしつつ、自立した運営を指導します。
7	あしがら花火大会実施事業	1,900	町が実施(要改善)	・納涼祭りと花火大会は分離した方がよい。 ・納涼祭りのあり方を町民の声を聴いて廃止を含めて見直しをすべし。	・合同開催である松田町と調整し、自主財源の確保を図りつつ、補助金の縮減を図ります。 ・納涼まつりは平成23年度から町商工振興会が主体となるよう働きかけます。
8	阿波おどり推進事業	2,210	町が実施(要改善)	・23年間の歴史があるが、踊り手が減少してきている状況を踏まえ、町民の意見集約をはかり抜本的に見直す時期。	・事業内容、事業手法を再構築します。 ・町、実行委員会、連協会との役割を明確にし、自立した運営を図るよう指導します。
9	公園維持管理事業	14,273	町が実施(要改善)	・公園管理にあたり自治会、ボランティアの協力を得ていくには、「地域の公園は地域の住民で管理する」という意識の醸成やシステムを作るべき。	・自治会と協議し管理方法の検討を進めます。 ・企業、学校、各種団体などにも協力を求めボランティア活動による管理費の削減を図ります。
10	南部地区土地区画整理事業	79,000	町が実施(現行)	・財政負担と税収見込み、ランニングコスト、区域外道路の整備費などすべてを住民に情報提供し理解を得るべき。	・事業計画や進捗状況などを町ホームページに掲載します。 ・南部地区の街づくり構想などを町広報紙に掲載します。
11	ごみ減量対策事業	22,347	町が実施(要改善)	・電動式生ごみ処理機の補助はすぐやめるべき。 ・住民にごみ処理コストを具体的に説明し、住民の自助努力の推進を。	・生ごみ処理機の補助は継続しながら効果検証を進めます。 ・効果的なアピール方法を検討しごみ減量の分別の徹底を進めます。
12	生涯スポーツ推進事業	2,097	町が実施(要改善)	・スポーツ振興へ概念や全体構想がない。 ・体育協会の体質改善をし、協会との役割分担を明確にすべき。	・団体等の連携を図り参加者の拡大とスポーツ振興に取り組みます。 ・体育協会から学校への指導者派遣などの新しい取組みを進めます。
13	介護予防サービス事業	9,540	町が実施(要改善)	・介護予防事業も含め、健康な町のアピールを。 ・対象者のニーズに合わせた無駄のない事業の推進を。	・対象者の把握に努めるとともに、地域包括支援センター業務の評価を実施し、住民に周知します。
14	福祉会館管理事業	43,892	町が実施(要改善)	・会館管理が社会福祉協議会ありきになっていないか。社会福祉協議会との関係を根本的に見直すべき。	・社会福祉協議会の会館使用料を検討します。 ・使用料の減免対象などを縮小するよう検討します。
15	老人福祉推進事業	2,055	町が実施(要改善)	・敬老祝金の対象年齢の見直しを。 ・金品の配布だけでない敬老行事のあり方の検討を。	・老人クラブなどの意見を聞きながら支給金額の縮減を進めます。 ・子どもからお年寄りへ敬老の手紙を渡す方法の実現を検討します。
16	シルバー人材センター支援事業	4,590	町が実施(要改善)	・福祉か、自立か、ということについて、町のコンセプトが必要。 ・ビジネスとしての経営感覚をもって対応することが必要。	・平成23年度中の公益法人化の準備を進め、その過程で経費縮減や適正な経営改善を求めていきます。

※事業番号5の仕分け結果「不要」は、施設の有無は評価できるが、管理方法や事業のあり方について抜本的な見直しが必要という判断です。

将来の町の姿を描いて

第五次開成町総合計画を策定します

企画政策課 ☎84-0312

町では、将来の開成町の姿を描き、その実現のため行うべきことを計画に表した総合計画を策定し、この計画に基づいた「まちづくり」を進めています。

現在の第四次開成町総合計画は、平成24年度で計画期間が満了することから、平成25年度を初年度とする第五次開成町総合計画を今後約2年間で策定します。

町民の皆さんと協働作業をまとめます

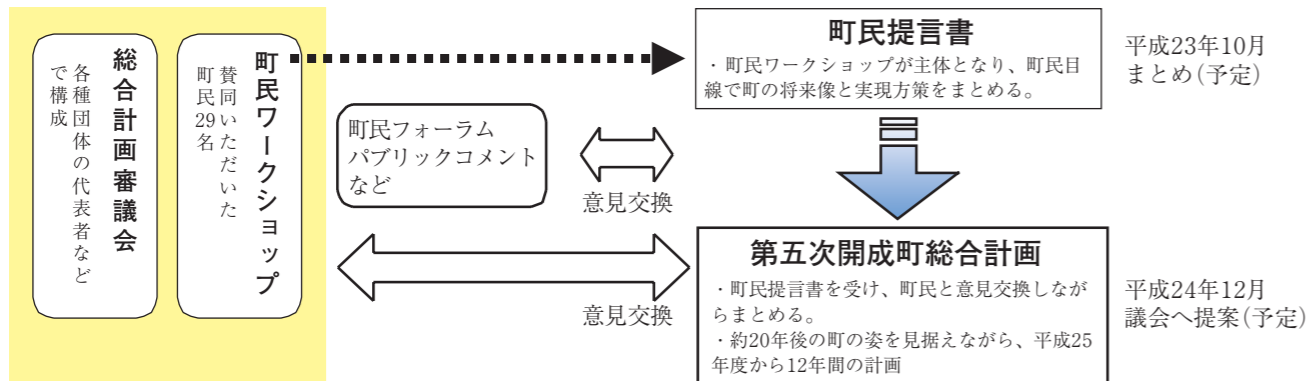
新しい総合計画は町民の方に主体的にかかわっていただきながら、行政と協働作業で策定していきます。

昨年末には、町民意識調査を行い、現在の総合計画の満足度などを把握しました。今回、町で初めての試みとなる町民ワークショップを立ち上げ、将来の町の姿やその実現方策などを平成23年10月ころまでに「町民提言書」として町民の視点でまとめていく予定です。

なお、この町民ワークショップは、町民の中から無作為に抽出した約千名の方に案内をし、趣旨に賛同いただけ

多くの皆さんのご意見を伺っていきます

町民ワークショップの他にも、各種団体の代表者などで構成する総合計画審議会の方々や、町民フォーラムなどの開催、パブリックコメントの実施などを通じ、多くの町民の皆さんと意見交換を行い、その意見を反映した計画となるように策定を進めていきます。



開成南小学校

県バリアフリーまちづくり賞を受賞

教育総務課 ☎82-5221

開成南小学校の建設については、新たなコミュニティの拠点として役割を果たすよう、だれもが、支障なく安全かつ円滑に施設を利用できるように、整備を進めてきました。このたび、開成南小学校が、バリアフリーの街づくりに貢献している建築物として、「神奈川県バリアフリーまちづくり賞（ハード部門）」に選ばれました。

1月27日（木）横浜市教育会館で表彰式があり、審査の講評では、「用途にあったバリアフリーが行われ、一般開放のことが良く考慮された理想的な学校である」と、評価をうけました。

●バリアフリーの内容

幅の広い通路、段差のない出入口、階段・スロープの手すり、カラーバリアフリーの観点を踏まえた案内板、だれもが利用できるトイレ、スロープがあるプール、車いす対応の水飲み場などです。



バリアフリーの状況 (スロープがあるプール)



表彰式 黒川副知事(左)から賞状を受け取る松浦教育長(右)